

嚮陽会館 複合交流施設 整備 基本設計概要書

〈2025年3月〉

鯖江市

空間構想・平池美廣 設計共同企業体

1. 建物イメージパース . . .	01
2. 設計概要	04
3. 建築計画	05
4. こどもの遊び場	08

外観 イメージパース



敷地南東側より建築立面と前面広場を眺める

内観 イメージパース



1F セントラルガーデンよりこどもの遊び場を眺める

内観 イメージパース



2F みんなのスペースより事務室を眺める

設計概要

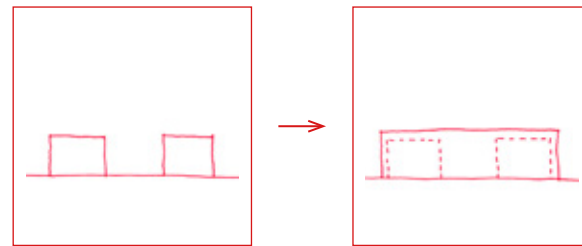
□ 施設のコンセプト

多世代交流（Play 遊び / Social movement 市民活動 / Interaction 交流）を軸にプログラムを構成し、地域の中核施設として、求心力のある建築空間を創出します。

また、シビックプライドの醸成を図り、地域と共に発展する全天候型の施設を目指します。

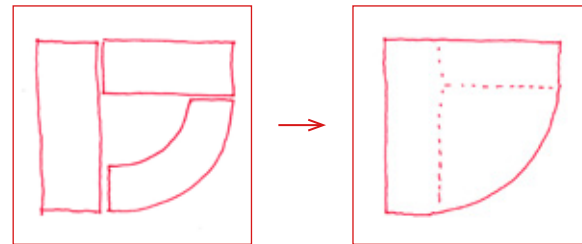
1. 表面積を小さくする

サッシや断熱の改修面積を小さくすることで、省エネルギー性能を高めると同時にコストを合理化し、無理のない施設の維持管理を可能とします。



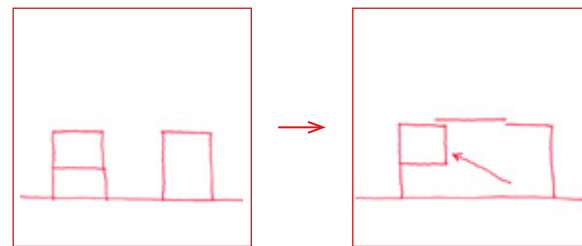
2. 1F フロアをつなげる

中庭を室内化することで、1Fフロアを一体的に利用することができ、多世代の交流が生まれます。



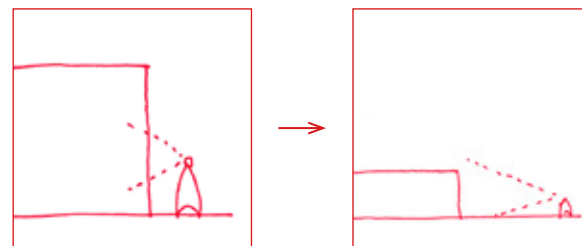
3. 上の階の存在を意識する

建物の中心にある象徴的なスロープは、誰もが上の階の存在を意識するきっかけとなり、建物を統合する役割を果たします。



4. 新しい視点場をつくる

外部の芝生広場を整備することで、遠くからでも郷陽会館を印象的に眺める視点場が生まれ、まちとの心理的つながりを生み出します。



□ 主要なエリアの構成

〈セントラルガーデン〉

1階から3階までをつなぐスロープを有する吹き抜け空間です。

ハイスайдライト（壁面上部のガラスの開口部）から年間を通して明るい自然光が降り注ぐ、市民の憩いの場所として計画します。

〈こどもの遊び場〉

メガネマウンとラビリスタワーと名付けた2つの大型遊具からなる屋内型遊戯施設です。

鯖江の主要産業であるメガネと自然豊かな原風景である山をモチーフとした遊具のみならず、それに付随したベビーカー置き場や保護者の見守るスペース、総合受付等も完備した全天候型の遊び場として計画します。

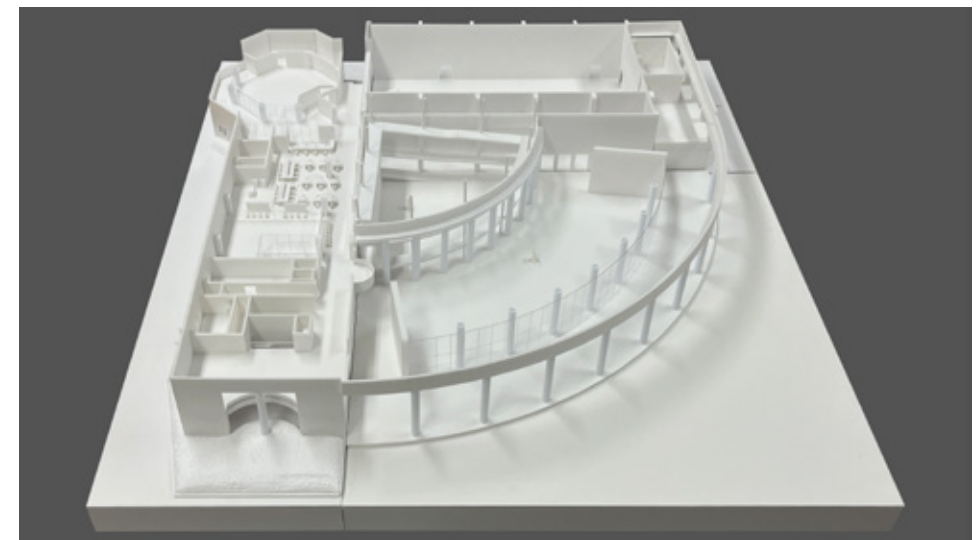
〈みんなのホール〉

展示会、講演会、演奏会、ワークショップなど、多種多様な催しに対応できる、最大500人規模の集会施設です。固定の席やステージは設けることなく、フレキシブルな活用が可能な場として計画します。また、災害時の避難所としての活用対応に加え、楽屋／控室を新設することで、さらなる利便性の向上を図ります。

〈みんなのスペース〉

市民主役所構想に基づいた市民活動の拠点として、2Fエリアを計画します。

誰もが利用可能なオープンスペースをはじめ、規模の異なる大小の会議室、ブース席、このエリアの管理者の入居を想定した事務スペースなどを計画します。



内観 模型写真

建築計画

□ 建築概要

■敷地概要

計画敷地：福井県鯖江市桜町１９字 １３－１

敷地面積：20,813.41 ㎡

用途地域：準工業地域

■建築計画概要

主要用途：地方公共団体の支庁又は支所、
集会場、飲食店、事務所 他

建蔽率：60%

容積率：200%

階数：3 階

□ 構造計画概要

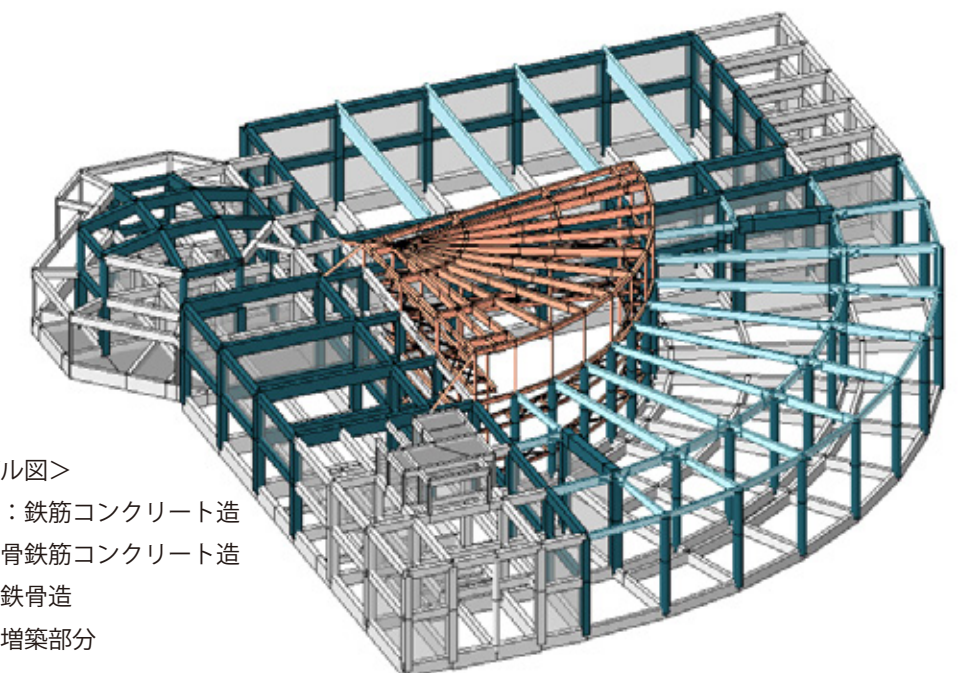
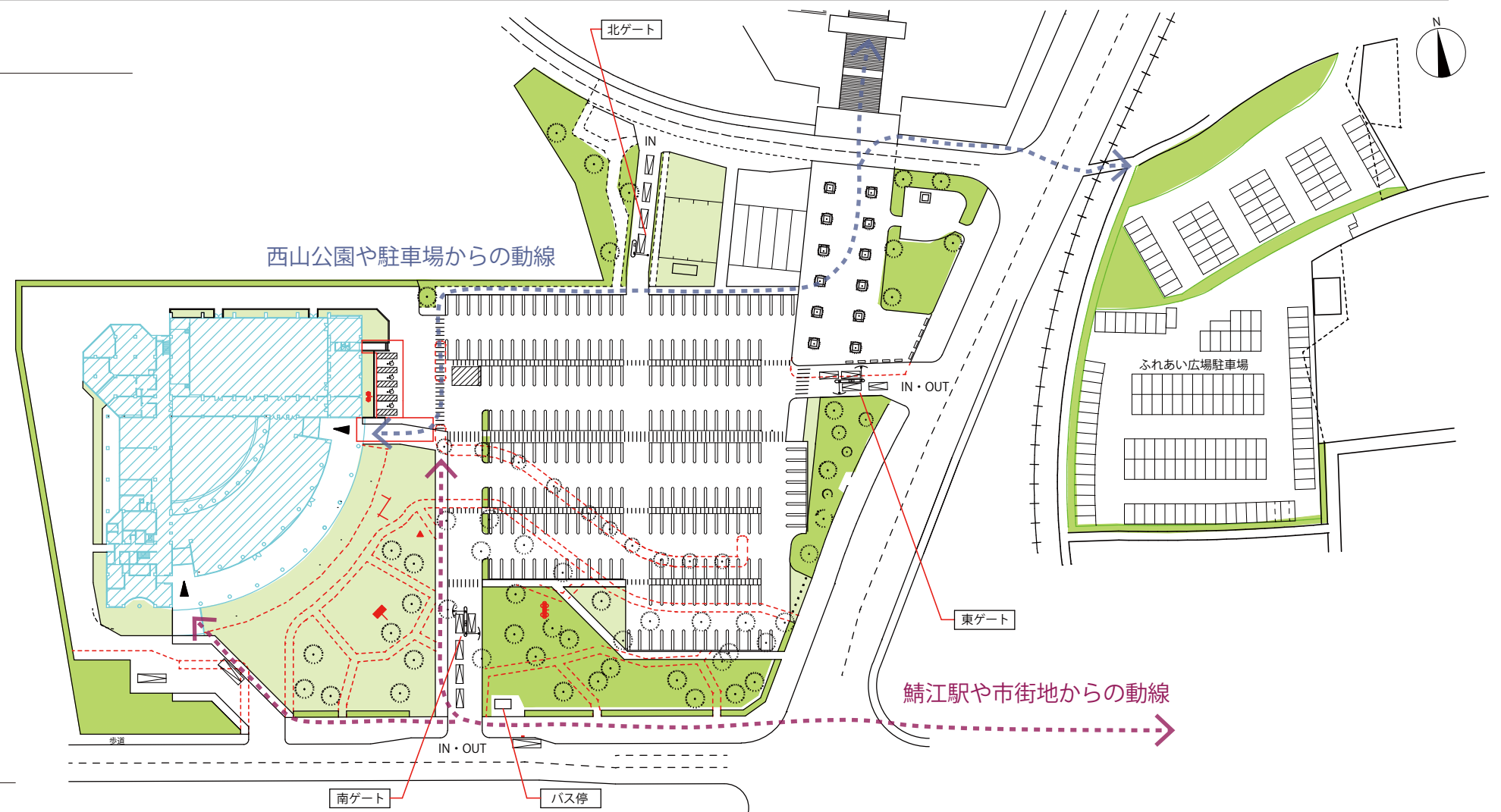
■構造形式

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造

既存建物は地上 2 階建て、延べ床面積は約 3,992 平方メートル、最高高さは 12.6 メートルの建物です。
主要構造は鉄骨鉄筋コンクリート造と鉄筋コンクリート造の混合構造で、一部の屋根には鉄骨梁を架けています。

中央の中庭を囲むように、北側には多目的ホールを、東側から南側にかけては円弧状にギャラリーを配置し、西側には会議室やサロンなどの用途をもつ小部屋を設けています。多目的ホールとギャラリーは 1 階と 2 階にまたがる吹き抜け空間となっており、多目的ホールは 19.68 メートル、ギャラリーは 15.6 メートルのスパンを鉄骨梁で支持しています。
ギャラリーは中庭の北西部を中心として、放射状に架構が並んでいます。西側の小部屋には、鉄筋コンクリート造の耐震壁を X 方向・Y 方向の両方に多く配置しています。そのため、構造計算ルートは X 方向・Y 方向ともにルート 1 の耐震壁付きラーメン構造となっています。
基礎構造は杭基礎で、地盤面（GL）から約 6.35 メートルの深さの層まで杭を打ち込んでいます。

増改築後の計画では、地上 3 階建て、延べ床面積は約 5,000 平方メートル、最高高さは約 16 メートルとなる予定です。
中庭には屋根を架けて室内空間とし、中庭に面する壁に沿ってスロープを設置します。既存中庭の屋根は、既存屋上レベルよりも約 2.4 メートルから 4.5 メートル高い位置に架ける計画です。スロープ、屋根、その他の増築部分の合計面積は約 950 平方メートル程度であり、既存屋上の床面積が増えることにより、建物は 3 階建てとなります。



＜解析モデル図＞

グレー表記：鉄筋コンクリート造

青表記：鉄骨鉄筋コンクリート造

水色表記：鉄骨造

橙色表記：増築部分

改修による環境性能の向上

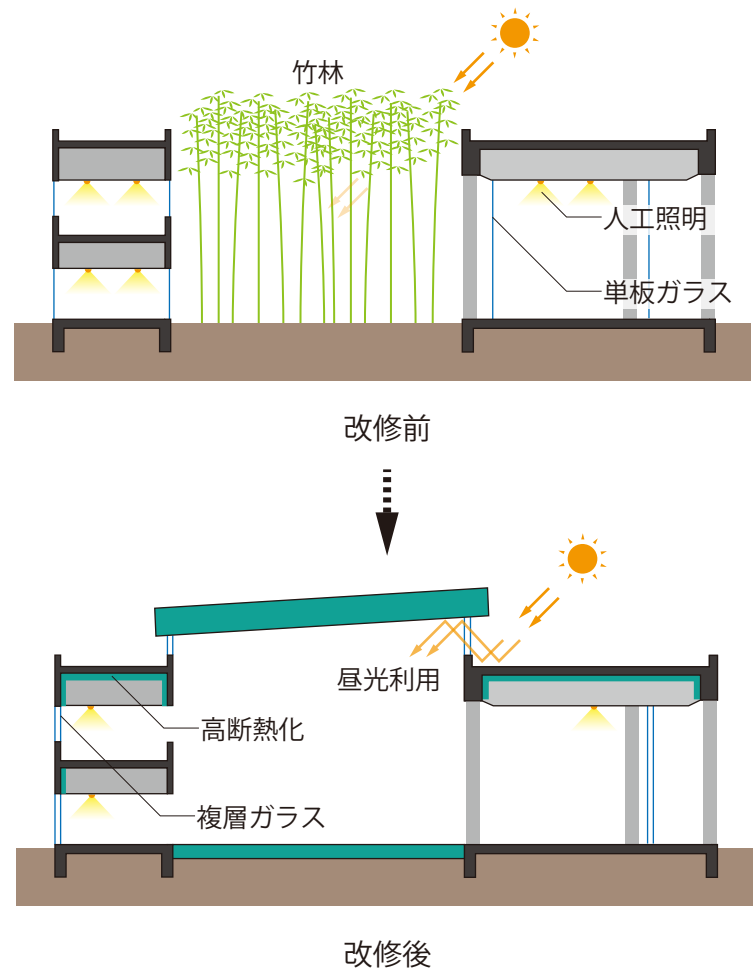
□ パッシブ技術

〈外皮性能向上〉

外壁、屋根面に関して、断熱層の厚みを改修前より大きくすることで、断熱性能を向上させます。また、外皮の中で最も熱の出入りが多い開口部は、複層ガラスに変更します。複層ガラスには、2枚のガラスの間に中空層が設けられているため、優れた断熱性能を発揮します。

〈昼光利用〉

現状、竹林によって中庭からの昼光が遮られています。今回の改修により中庭が屋内化され、連続するハイサイドライトから自然光が降り注ぐ明るい空間へと変わります。これにより昼間の人工照明の利用が減り、エネルギー消費量削減に貢献します。



□ アクティブ技術

〈空調機設備の高効率化〉

空調機を、省エネ性を示す指標であるCOP（成績係数）の高い電気ヒートポンプ方式に変更すると同時に、熱源機器の台数を適切に制御することで、高効率化を図ります。また、熱搬送に必要なエネルギーを低減するため、熱負荷の変化に応じて風量を制御し、送風機の搬送動力を削減します。

換気に関しては、熱と湿度を交換する仕組みによって室温の維持に貢献できる全熱交換機の採用により、空調機能を補助します。また、バイパス制御機能により、その時の室内温度と外気温度から、省エネ効果の高い換気モードに自動的に切換えます。

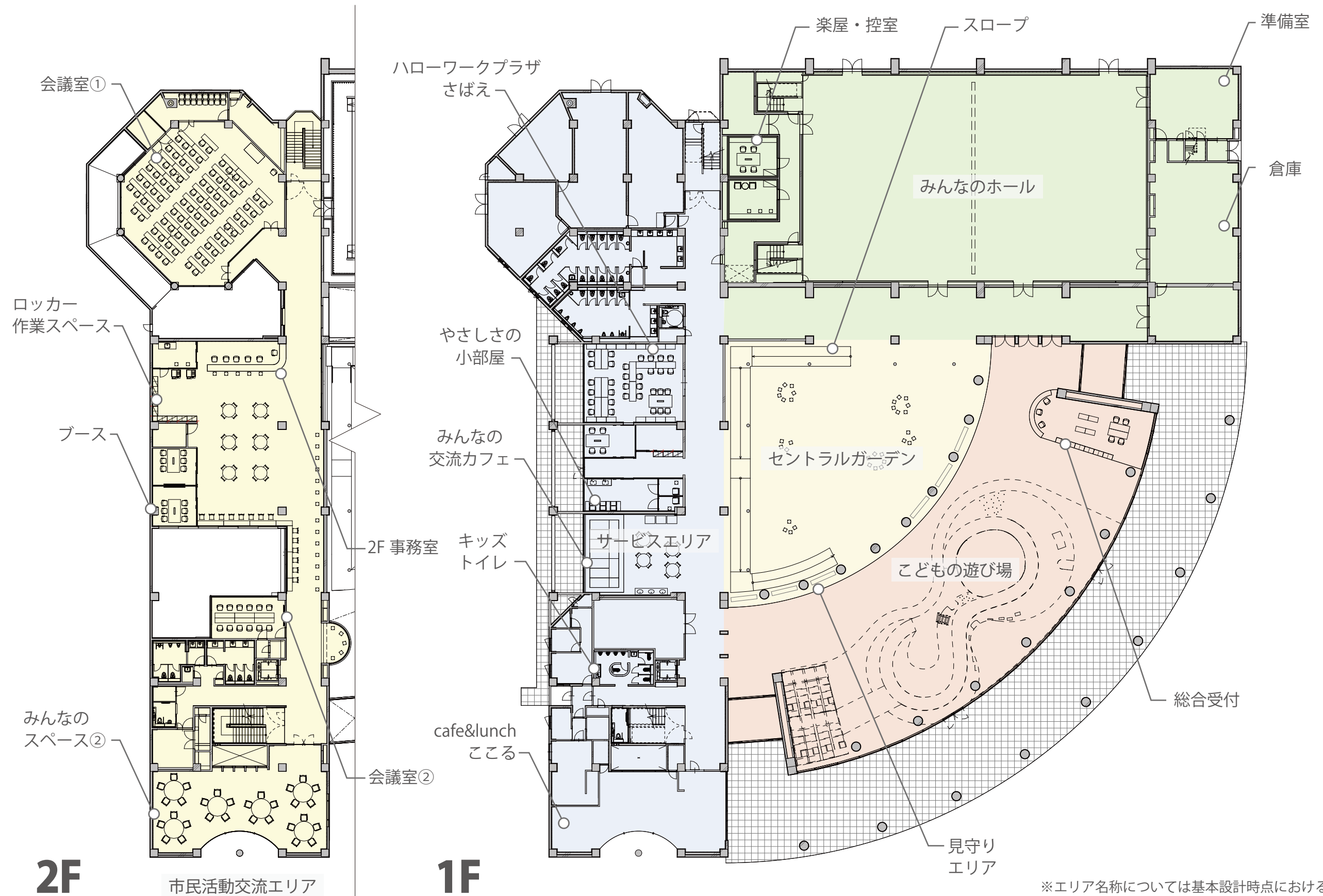
〈照明器具の高効率化〉

館内の照明器具を、高効率照明として普及しているLED照明に変更します。LED照明を採用することで、エネルギー消費量の削減だけでなく、照明の長寿命化も図ります。また、人感センサー・照度センサーによる自動調光、タイムスケジュールによる点灯など、設置場所に最適な制御方法を選択することで、さらに高い省エネルギー効果獲得を目指します。

導入検討技術

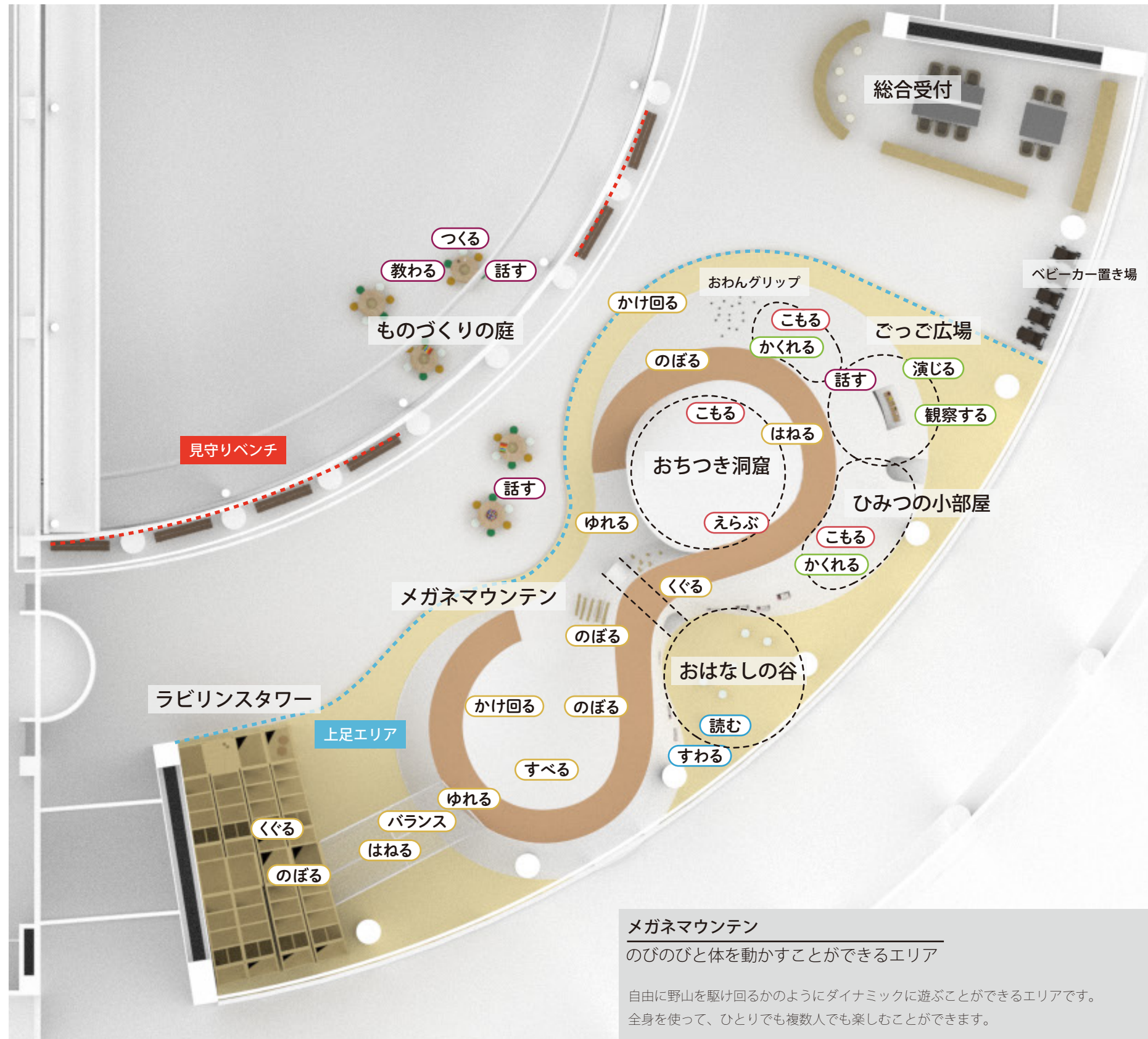
技術	設備	仕様	
パッシブ技術	外皮断熱	屋根	断熱材をt=80mmに強化
		外壁	断熱材をt=50mmに強化
		窓	Low-E複層ガラス
		遮蔽・遮熱	ブラインド/庇
	その他（自然エネルギー活用）		屋上緑化/樹木の配置 ハイサイドライト/自然換気
アクティブ技術	空調	機器(熱源)	電気式空冷ヒートポンプマルチエアコン/空冷ヒートポンプ空調機/ ヒートポンプモジュールチラー
		システム	バイパス制御/外気取入れ制御/冷温水変流量システム/変風量制御
	換気	機器	全熱交換機
		システム	変風量制御
	照明	機器	LED照明器具
		システム	人感センサー/照度センサー/タイムスケジュール制御
	給湯	機器	小型電気温水器/貯湯式電気温水器
		システム	－
	昇降機		－
	その他		－
BEMS	システム		設備負荷制御/エネルギー計測データの見える化
備考			

1F 2F 平面図



※エリア名称については基本設計時点における仮称です。

こどもの遊び場 エリア構成



ものづくりの庭

創造力をカタチにできる体験エリア

鯖江らしいものづくりが楽しめるエリアです。
体験型のワークショップを開催して、こどもたち自ら手を動かすことで、ものを作りながら考える創造力を養います。

ごっこ広場

好きなことへ没入できるエリア

様々な鯖江の伝統文化にふれながら、自分の創造力を養うことができるごっこあそびのエリアです。
お屋さんやお客さんになりきって複数人で遊ぶことにより、社会性を身に着けることができます。

おちつき洞窟

同じ目線で、ゆったりあそべるエリア

あらゆる精神的または身体的な特徴を持つ人たちが、みんな平等に同じ目線であそぶことができるエリアです。
他のエリアと動線は分節されながら、皆が同じ空間であそぶことによって自然とつながりが生まれます。

ひみつの小部屋

リラックスしながらホッと一息つけるエリア

子どもたちが心を落ち着けたり、リラックスしたりするためのエリアです。
全身を使ってたくさん遊んだ後に、ホッと一息着くことができる隠れ家のような空間です。

おはなしの谷

感性を磨く、心が豊かになるエリア

思いがけない本との出会いが、こどもたちの感性と知的好奇心を刺激します。
遊びと学びがシームレスにつながることで、こどもたちの健やかな成長を促します。

ラビリンスタワー

全身の身体能力が向上するエリア

さまざまな運動の能力が養われるエリアです。
登る、くぐる、つかむなど全身の筋肉をつかうことで、こどもたちの体力の向上に寄与します。

メガネマウンテン

のびのびと体を動かすことができるエリア

自由に野山を駆け回るかのようにダイナミックに遊ぶことができるエリアです。
全身を使って、ひとりでも複数人でも楽しむことができます。

こどもの遊び場 エリア構成



こどもの遊び場 パース



ラビリンスタワーよりメガネマウンテンを眺める